

CONTENTS

1

協会事業

第31回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました！

2-3

GLOBAL VIEW

インタビュー：外国出身者に聞く茨城の印象

4-5

交流の広場

JICA茨城デスク／わが町の外国人リーダー
Young Eyes／Across Culture

6

地球だより

出会いに感謝、ハンガリー留学を通して気が付いた思いやりの心

県だより

「多文化理解パートナー育成講座」を開催しました！

7

For You お知らせ

8

Said & Did

第31回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました！

2月19日（土）、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて、第31回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。

このコンテストは、県内で生活している外国人の皆さんが日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など、県民との相互理解を深めるテーマを日本語で発表し、異文化交流を促進するものです。当協会設立以来実施しており、今年で31回目を迎えました。

16か国39名の方から応募があり、選考の結果、アメリカ、インドネシア、カンボジア、スペイン、スリランカ、タイ、中国、ネパール、ブラジル、ベトナム、ペルー、ロシアの12か国、男女15名の方が選ばれました。

「まん延防止等重点措置」適用のため、無観客開催に変更し、併せてYouTubeによるライブ配信（後日オンデマンド配信）を実施いたしました。各賞の審査は、厳正を期するため審査委員7名が会場にて行いました。特別賞（若人賞、日本語ボランティア賞）は、ライブ配信を視聴した県内の高校生並びに日本語ボランティアの皆さんに審査していただきました。

其々異なる文化的背景を持った出場者が、日本での体験をもとに様々なテーマで話す内容は、どれもなるほどと感じるところがあり、考えさせられるものが多くありました。出場者の思いは、視聴した方に強い印象を与え、国際理解を深める良い機会となったに違いありません。

アトラクションでは、全国大会準優勝の水戸葵陵高等学校書道部が息の合った書道パフォーマンスを披露しました。迫力ある姿は大変見ごたえがあり、優雅な動きは観る人を魅了するものでした。

今年も15の協賛企業・団体から素晴らしい賞品をご提供いただき、出場者全員が受け取りました。



出場者の皆さん



茨城県知事賞&若人賞
イコマン ダルマ ウェダさん



茨城県議会賞
マツモト ラファエルさん



茨城県教育長賞&
日本語ボランティア賞
チェック サンさん



ひばり賞
呉 華芳さん

上位入賞者は以下の通りです。

賞	受賞者・タイトル
茨城県知事賞 若人賞	イコマン ダルマ ウェダ（インドネシア出身） 「茨城弁わっぺか？」
茨城県議会賞	マツモト ラファエル（ブラジル出身） 「3つの国」
茨城県教育長賞 日本語ボランティア賞	チェック サン（カンボジア出身） 「笑顔で世界をつなげよう」
ひばり賞	呉 華芳（中国出身）／「茨城が私の故郷になった理由」



アトラクション 水戸葵陵高等学校書道部



特集 茨城県で暮らしている外国出身者に聞きました!

茨城の印象、そしてこれから…

コロナで厳しく制限されていた外国人の新規入国が、一部で段階的に再開されようとしています(2022年3月初頭時点)。これまでオンラインで、仕事のやり取り、語学や専門の学習、観光ツアーなどしながら、来日できる日を待ち望んできた外国人が多くいると思います。そんな今こそ、外国人目線での日本や茨城の印象について考えてみませんか。日本や茨城の良さ、日本人と仲良く暮らすコツなどについて、茨城で長く生活している外国出身者に聞きました。

※インタビューのコメントは、日本語学習者向けに文を短くしたり比較的簡単な表現に変えるなど、一部加工したものです。

主な質問内容

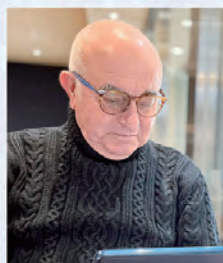
- ①茨城の〇〇が好き ②茨城の〇〇が苦手 ③外国人が増えて変わったと思うこと
④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

フラギス アタナシオス

出身：ギリシャ

茨城在住：約20年(県央地域)

職業等：会社経営



①茨城の〇〇が好き

茨城はとても良いところ、住みやすいところです。色々な食べ物がおいしく、大都市に比べ物価も安いです。

③外国人が増えて変わったと思うこと

外国人が増え日本人の皆さんも外国人に慣れてこられたと感じます。でも、日本語が難しい外国人には、ほしい情報をみつけにくいと思うときがあります。銀行、病院で困ることが多いです。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

日本人と外国人とが仲良くするには、コミュニケーション、特に話すことが大切だと思います。外国人も日本語を勉強していますが、年を取ると難しいこともあります(笑)。私は英語ができますが、母語ではありません。日本人が英語で話すとき、間違っていることを心配していると感じる時があります。気にしないでください。コミュニケーションは学びのプロセスです。自分の壁を取り話すことで、日本とヨーロッパの文化理解を深めましょう。言い間違えは親切な気持ちでなおしあえばよいです。そんなコミュニケーションを一緒に楽しみましょう。



ルドビック デピシ

出身：フランス

茨城在住：約8年(県南地域)

職業等：会社員



①茨城の〇〇が好き

自然、近所づきあいがあり、コミュニティの一員でいる日常生活が好きです。今住んでいるところでは、周りの日本人の皆さんが、私に心を開いて受け入れてくれました。困っているときは助けてくれます。畑仕事も手伝ってくれます。大都市では経験できないいいところだと思います。

②茨城の〇〇が苦手

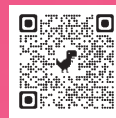
外国人に会うのが初めてだと、どうしたらいいかわからなくなる人もいると思います。国が陸続きのヨーロッパとは違い、まわりが海の日本では本当の外国文化をあまり知らない人がいるかもしれません。外国人の生活スタイルや価値観を知ると変わらないと気付くと思います。日本文化が好きで大事にしたり、守ろうとしている外国人がいます。私も好きで古民家に住んでいます。祭りや行事などの伝統もそうです。そういう外国人をみれば、日本の伝統の良さや価値を再発見できると思います。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

TVや映画のイメージで考えないで、お互いに心を開くことが大切です。考え方や文化の違いで戸惑うことがあるかもしれませんが、時間がかかるかもしれませんが、相手を理解すること、許すことで解決できます。「どうして?なんで?ダメ」と考えないほうがよいです。茨城の皆さんは自分を受け入れてくれました。外国人も日本人も一緒に異文化から新しい価値を見つけ、自分のものにすることで、みんなが成長できます。話したり、やさしくアドバイスすることで、人と人とが理解できます。



茨城県国際交流協会は「いばらきダイバーシティ宣言」を宣言しました。(2021年11月29日付)
性別等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現に取り組みます。
国籍・出身によらず、誰もが人道を尊重し、外国人も日本人も地域社会を構成する一人の生活者として、共に安心し安全に暮らせる多文化共生社会の実現に貢献します。



宣言内容はこちらをご覧ください。

甚田スリーラット

出身：タイ

茨城在住：約40年（鹿行地域）

職業等：通訳



①茨城の〇〇が好き

茨城の自然が好きです。袋田の滝、国営ひたち海浜公園、水戸の偕楽園、茨城フラワーパーク、神社巡りなどがいいです。

②茨城の〇〇が苦手

茨城の方言が苦手です。外国人だけではなく、日本人でも初めて茨城に来た人は同じではないかと思っています。例えば「そうっぺなあ〜」を初めて聞いたときは意味がわかりませんでした（笑）。「そうです」ならわかりました。話に方言がたくさん使われるとわかりにくいです。



③外国人が増えて変わったと思うこと

外国人が増えて変わったと思うことは、色々な国・地域から人が沢山増えて、その国の特色を強く感じることです。日本のルールとは違って、マナーが悪いと感じたこともあります。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

それはお互いに尊敬することです。それぞれの国・地域のマナーを守るのだと思います。言葉が分からないときは、身振り手振りで伝えよう・わかってほしい、お互いに理解することが大切です。茨城の日本人の皆さんは気持ちが優しいので、大丈夫、出来ると思います。

曹麗(そうれい)

出身：中国

茨城在住：約28年（県北地域）

職業等：会社員



①茨城の〇〇が好き&

②茨城の〇〇が苦手

中国の内陸出身で、日立市に引っ越した時に広い海岸線と太平洋、海が近くて大好きでした。でも、東日本大震災の津波を見て、海は怖いものと同じくらい気持ちが変わりました。このほか、中国を含む東洋文化を世界に伝えた岡倉天心、水戸学・弘道館・孔子廟などの歴史が素晴らしいです。茨城の自然や歴史が好きですが、自然が多いせいか夏の蚊には悩まされています（笑）。

③外国人が増えて変わったと思うこと

茨城で外国人が増え、この10年くらいをみると、道路で見かける看板に東南アジアの言葉が増えたと感じます。技能実習生が多い地域でしょうか。スーパーでも外国人客が増え、これまで買えなかった外国のものが買えるようになりました。私は正月にヒマワリの種（食用）を必ず食べます。スーパーで買えるので助かります。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

それは「心」だと思います。言葉が通じなくても、笑顔で心が伝わります。日本で働くために来日した外国人の中には、仕事以外にほとんど興味がない人がいるかもしれません。休日にも母国の人との交流だけでいい。もったいないことです。一度だけの人生をより豊かなものにするために、日本人と交流したほうがよいです。目的が日本語の勉強でなくても、地域の日本語ボランティア教室に行ってみることをお勧めします。日本人の文化や生き方について知ってほしい、そのことが自分の人生経験を豊かにします。色々な人に会い、心を感じることが大事だと思います。

メガンメンドーサ

出身：アメリカ

茨城在住：約10年（県北地域）

職業等：篤志家（動物を助けたり外国人サポートをする）



①茨城の〇〇が好き

茨城の好きなところは、何でも近いことです。海、山、大都市（東京）、など。穏やかな茨城は私の出身地と似ていて、私に合っています。

②茨城の〇〇が苦手

茨城でちょっと困るのは、日本語や日本での生活に慣れていない外国人にとって言語サポートが少ないことです。地方の共通課題だと思います。また、私の場合、ラテンの現地の味がないことです。私のルーツはコロンビアです。現地の味となると、東京まで行かないとありません。

③外国人が増えて変わったと思うこと

外国人が増えて変わったと思うことは、この10年で、例えば親が日本人とイタリア人というように、ハーフ（ダブル）の人が身近に増えたことです。日本人というアイデンティティが変化しています。「日本人といえば皆〇〇だ」とは言えないと思います。アメリカでは、例えば感謝祭で何を食べるかという、人それぞれ違います。「アメリカ人なら〇〇を食べる」ではありません。「アメリカ人は金髪で目が青い」のように「ステレオタイプ」とか「典型」という型にはめない、思い込まないことが大切です。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

日本人と外国人とが仲良く暮らすうえでのアイデアを聞かれると、私は日本の「本音と建て前」やKY（空気が読めない）のことを思い出します。正直な気持ちを自分に直接伝えてくれた方がよくわかります。ちょっと言いにくいことであれば、いい方だけ工夫して直接伝えてほしいと思います。

永野アンナ 菜穂子 (ながの あんな なほこ)

出身：ブラジル

茨城在住：約20年（県西地域）

職業等：主婦、在住外国人のためのサポーター



①茨城の〇〇が好き

結婚して農家の嫁として茨城に来ました。茨城の好きなところは、今住んでいるまちが好きです。お米や野菜がおいしいです。日本では農業と会社で働く両方をしている人がいてすごいなと思いました。私の両親は日本からブラジルに移住して農業だけをしました。苦しいときがたくさんありました。

②茨城の〇〇が苦手

茨城で苦手なところは、冬が寒いことです。私の生まれ育ったブラジルのパラ州は一年中暖かいです。冬の農作業は寒くないようにたくさん着ます。

③外国人が増えて変わったと思うこと

外国人が増えたので、ブラジルの食べ物が増えやすくなりました。ブラジルでよく食べていた豆を買います。懐かしい豆料理を食べると、気持ちが落ち込んでいたときに元気が出ます。病気で薬を飲むとよくなるのと同じ気持ちです。外国人には、仕事で日本に来てうまくいかない人がいると思います。仕事を変えたくてもできない、辛くて国に帰りたい人も簡単に帰れない人がいると思います。相談できない、文句も言えない、我慢ばかり。そして悪いことをしてしまう人がいるかもしれません。多くの外国人はまじめに生活しています。でも、自分が日本に来た頃と比べると、地域の安心・安全が少し減ったかもしれません。

④日本人と外国人とが仲良く暮らすコツ

日本は母国とは違うと気を付けることです。「大丈夫。何とかかなる」と軽く考えてはいけません。日本の法律、生活に自分から慣れるようにしたほうがよいと思います。

スポーツと国際協力

JICA茨城デスク 国際協力推進員 新井 江梨子

「貧困や紛争など問題を抱えている国でスポーツなんて必要あるの?」そう思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

スポーツを通じたJICAの国際協力はこれまで90ヶ国以上で行われており、JICAボランティアの派遣や、技術協力事業、各国からの研修員受入など様々な形で行われています。

私は2005年から2年間JICA海外協力隊として西アフリカのブルキナファソでバレーボールの普及活動をしてきました。ブルキナファソは当時から世界で最も貧しい国の一つで貧困や砂漠化、感染症の蔓延など多くの課題を抱えている国です。しかし、私の出会った人々は困難な環境下でも明るく穏やかで勤勉。そしていつも皆で助け合って生きていました。

当時はブルキナファソに体育館が一つもなく、練習は全て青空の下!市内の小中学生をはじめ、子どもから大人までバレーボールを通じて多くの人々と交流することができました。合宿では現地の人々と何日も寝食を共にし、互いの文化を理解し合う貴重な日々を過ごしました。

近年、ブルキナファソでは武装勢力による治安悪化が問題となる中、昨年の東京オリンピックでは、陸上男子三段跳びでブルキナファソのユグ・ファブリス・ザンゴ選手が同国で史上初のメダルとなる銅メダルを獲得し国民に希望をもたらしました。私もブルキナファソにいる友人らとSNSで喜びを分かち合いました。

東京に続き北京オリンピック・パラリンピックでも世界各国の選手の懸命な姿、相手選手へのリスペクト、結果や勝ち負けを超えた喜びや感動がありました。スポーツがもたらす可能性が豊かな社会と平和につながると信じ、国際協力においてもぜひ注目頂けたらと思います。



ブルキナファソでバレーボールを教える新井さん



ブルキナファソ

わが町の外国人リーダー

李さんをご紹介します



リ カ ヨウ
李 佳容さん
ひたちなか市在住
(茨城県在住歴10年)
台湾出身

李さんは現在、ひたちなか市国際交流協会の活動に参加し、にほんご教室ルンルンのスタッフとして、地域に暮らす外国人の日本語学習のサポートをしています。そのほかにも、幼稚園と小学校で子ども向けの日本語指導を行ったり、市や協会の文書などについてやさしい日本語や中国語への翻訳を行ったりと、母語と日本語を使って幅広く活躍しています。

李さんは気配り上手で、周りにいる私たちを明るく朗らかな気持ちにしてくれます。いつもありがとうございます。これからもよろしくをお願いします!

ひたちなか市市民活動課

李さんにお聞きしました

これまで活動してきて感じていること、日本で生活している外国人の方々への伝えたいことなどを教えてください。

来日してから、台湾人は「優しい」民族だと言われることが多いです。よく考えたら、確かに小さい頃から知らない人に席を譲ってくれたり、公衆トイレでも先に入っていいよと言ってくれたり、親切にしてくれる人が多かったです。大きくなってから自分もお手伝いする側になったりします。よく考えてみたら、台湾人はアンパンマンのように、いつもパトロールしています。来日した時に日本語はできなかったのに、助けてもらうことは多くなりました。感謝の気持ちもあるけれども、実は申し訳ない気持ちもありました。たまに劣等感も感じました。日本語学習のお手伝いをする事で外国人の不安をすこしでも軽減できたらと思い、活動を続けています。活動するたびに、日本語学習者と喜びだけでなく、悩みや不安も分かち合ったりします。お互い助け合っている感じです。ひたちなか市に住んでいる外国人、特に日本語ができない方にぜひ日本語教室に来てほしいです。助け合うことを通じて、達成感と所属感が得られます。これからもみんなで日本語を学んだり、日々の喜びや悩みなどを共有したり、ダイバーシティなひたちなか市を作りたいです。



ひたちなか市国際交流協会日本語支援プロジェクトグループ
日本語入門講座で学習者向けに講義をしている場面



YOUNG EYES

異文化理解に身を委ねて

茨城県営業戦略部国際渉外チーム 国際交流員
ジャワ・セイフェン



7年前に未知の世界としか考えていなかった日本の社会と文化に触れたとき、私は不思議なことにそこに親しみを感じました。漫画から始まったその単純な関心は、日本の社会や日本人の考え方について調べていくにつれ、その高い自我意識に惹かれ、まるで自分のことを知るかのように、日本のことを知らなければならないという旺盛な好奇心へと変わっていきました。

その想いに導かれ、日本学科で学ぶことを決断しました。そこで、日本の歴史、社会、文学を勉強し、やがて、日本国内でありながら、異なる文化を持つアイヌ民族の歴史、特に明治時代の日本国家によるアイヌ教育制度を研究することとなりました。また、友人と日仏交流会を発足し、日本を理解したいという気持ちはさらに増し、日本へ向かうための原動力となりました。そして、日本を実際に訪れてみると、やはりそこに住んで働きたいと強く思いました。

2021年9月にその希望がようやく叶い、茨城県に国際交流員として着任しました。現在、茨城県営業戦略部国際渉外チームと茨城県国際交流協会に勤務しています。県庁では、姉妹都市のフランス・エソンヌ県とのやり取りを担当しており、両県の高校生交流を促進しようとしています。協会では、在留外国人が母国を英語で紹介する世界文化セミナーを担当しており、異文化理解を深めようと努めています。今後、県内のフランス語教育も普及していこうと考えています。

これからも異文化理解という道を歩み続け、現在のフランス語、英語、日本語能力を活かし、将来、通訳者として日本と海外の懸け橋になりたいです。そして、日本まで自分を導いた、異文化に対するその好奇心を、より多くの人々に持ってもらえるよう頑張っていきたいです。



静岡県浜松市の浜名湖



BOLOTBEK KYZY SAIKAL

(キルギス出身)
筑波技術大学
技術科学研究科
情報アクセシビリティ専攻



キルギス共和国

ここが違って、おもしろい!

Across culture

●キルギスってどんな国?

キルギスは中央アジアに位置し、日本から約5400km離れています。

国家語はキルギス語で主にキルギス人が使いますが、多民族の国とされることから、民族間のコミュニケーション手段としてロシア語が使われます。

山が多い国で自然が豊かです。ハイキングが好きな人は満足できる観光地が沢山あります。

中央アジアといくつかの国で元日とされる「ノウルーズ」祭りがあります。キルギスは3月21日で、この日にしか食べられない「スモロック」が作られ、お祝いに広場に集まる住民に配ります。

●日本へ来たきっかけは?

キルギスの聴覚障害者に対し、支援として何ができるかなと考えるようになりました。そして、キルギスの大学で習った日本語を活用して、日本の大学で調べられる機会が当たりました。それがきっかけで、今、筑波技術大学の大学院生として手話言語、ろう者などに関することを調べています。



三重県なはなの里
ペゴニアガーデン

●キルギスと日本のここが違って、おもしろい!

キルギス人と日本人の顔がそっくりですが、考え方がまったく違うといつも思います。例えば集合の場合、日本人は相手が約束の時間より早く来るから、自分も早めに行こうとしますね。キルギス人は相手が遅れて来るから、自分も遅れて行こうという考え方が一般的です。

そして、日本でいくつかの山に登ったことがあります。どこでも、登る道は階段でした。それは「山登りではない」気がしました(笑)。キルギスは、案内看板などがあまりなく、目的地まで何があるか、どれくらいかかるか仲間で話し合いながら登ります。それで楽しい登山ができると個人的に思います。

●あなたの将来の目標について教えてください

日本留学中に得た知識、経験、修士論文で調べたことなどを活用して、日本とキルギスの聴覚障害者が交流できるような活動に取り組みたいと考えています。それを通して、社会的に等しくなれるよう少しでも何かできたらと思います。



国営ひたち海浜公園

出会いに感謝、ハンガリー留学を通して 気が付いた思いやりの心

ハンガリー ブダペストメトロポリタン大学 前沢 千智

地球だより



前沢さん（ブダ城の前で）

私は約2年半の間、ハンガリーのブダペストにある大学で留学をしてきました。ハンガリーは中央ヨーロッパにあり、大きさは日本の約4分の1程度と日本よりも小さな国です。

ハンガリーの首都ブダペストは「ドナウの真珠」とも称され、中欧を代表する美しい都市であることでも有名です。休日にはドナウ川沿いに立ち並ぶ、歴史あるヨーロッパの建物を見ながら散歩する人達の姿が見られます。

ハンガリーはその街並みの美しさだけでなく、とても優しく、思いやりの気持ちを持った人が多くいる国だと思います。留学当初、異国の地で不安だった私のために、ハンガリー人のクラスメートがいつも相談に乗ってくれていました。また、コロナウイルスの混乱の中、彼らが親身になって情報収集を手伝ってくれました。

オープンでフレンドリーなハンガリー人の性格は、クラスメートだけでなく大学の外でも感じることができました。例えば、市場のおばちゃんが、ハンガリー語を話せない私にも笑顔でコミュニケーションを取ろうとしてくれるなど、ハンガリー人は人と人との繋がりを大切にしていると感じる場面が多くありました。そんな他人を思いやることのできるハンガリー人の性格は日本人にも共通している点だと思います。

オープンでフレンドリーなハンガリー人の性格は、クラスメートだけでなく大学の外でも感じることができました。例えば、市場のおばちゃんが、ハンガリー語を話せない私にも笑顔でコミュニケーションを取ろうとしてくれるなど、ハンガリー人は人と人との繋がりを大切にしていると感じる場面が多くありました。そんな他人を思いやることのできるハンガリー人の性格は日本人にも共通している点だと思います。

留学を通して多くの経験を得ることができましたし、ハンガリーの人達との出会いは忘れられない宝物となりました。

近年、ハンガリーの大学に留学するアジア人学生は増加しています。ハンガリーの大学にはヨーロッパ各国との短期交換留学制度もあり、「ヨーロッパ留学してみたい」、という人には是非一度、ハンガリーにも興味を持っていただきたいです。



ブダペスト中央市場で刺繍をする女性



国会議事堂とドナウ川

News from Prefecture 県だより

「多文化理解パートナー育成講座」を開催しました！

茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課 事務支援員 山本 千尋

茨城県には、現在約72,000人の外国人の方々がお住まいで、茨城県全体の人口に占める割合は2.5%にのぼります。このため、県では昨年10月から11月にかけて、「多文化共生に対する理解を深め、職場や地域コミュニティにおいて、外国人住民を支援し、周囲の県民に対し共生を促進する人材の育成を図る」ことを目的として、茨城大学との共催により「令和3年度多文化理解パートナー育成講座」（全6回ほか特別企画）を開講しました。

新型コロナウイルスの感染状況から講座は全てオンラインで実施し、高校生から社会人まで幅広い年代の方にご参加いただきました。茨城大学の先生方を始め東京入管、茨城県警、地域で外国人支援を行う方々など、様々な講師陣による貴重な講義に加えて、意見交換の時間を多く設けるなど、多文化共生について考えをより深めていただく、よい機会になったと思います。私も受講者の一人として参加しましたが、周りの方々の積極的に学ぶ姿や、「自分たちには何ができるのか」という問いに真剣に取り組む姿勢に、とても刺激を受けました。

講座修了者のうち、希望する方には（公財）茨城県国際交流協会の「多文化共生サポーターバンク※1」の「外国人のための地域生活アドバイザー※2」にご登録いただき、ボランティア活動を実践していただいています。

今後も、「国籍に関わりなく県民一人ひとりが、お互いの文化や生活習慣を理解し協力し合いながら、地域の一員として地域づくりを進めていく」そんな社会への更なる推進に向けて、日々の業務に向き合っていきたいと思います。

※1外国人住民を支援する語学サポーター等の登録制度

※2外国人住民が地域とのつながりを持てるよう支援者として活動するボランティア



県女性活躍・県民協働課
多文化共生担当のページはこちら
<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/josei/kenmin/tabunkag.html>



多文化共生サポーター
バンクについてはこちら
https://www.ia-ibaraki.or.jp/s_bank/index.htm



多文化理解パートナー育成講座



日本人に母国の文化を教えてください

茨城県国際交流協会では、学校の授業やイベントで母国の紹介や児童・生徒等と交流する外国人講師を募集しています。特別な資格はいりません。

こんな人はぜひ！

- 人とふれあうことが好き
- 自分の国・地域のことをもっと知ってほしい
- ボランティア活動をしたい
- 日本語で日常会話ができる人

日時は相談できます。
協会のルールにより、謝金、交通費をお支払いします。
ご興味のある方は当協会（ワールドキャラバン担当）までご連絡ください。



茨城県留学生親善大使を募集します

国際交流活動に意欲がある外国人留学生を「茨城県留学生親善大使」に任命します。（2022年6月頃に任命式を開催予定）

任命されると、県内の学校などで母国について紹介する「ワールドキャラバン」や、参加費無料のバスツアー、ホームステイ体験などに参加できます。

今年度のバスツアーでは、笠間市での陶芸体験や、つくば市の企業訪問、筑波山散策などを行いました。

興味のある方は、ぜひ当協会のホームページをご覧ください。

賛助会員を募集しています！

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるよう、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円(1口以上)
	個人会員	1口 3,000円(1口以上)

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。



職員紹介



9月から茨城県庁営業戦略部国際渉外チームの国際交流員として勤務しておりますフランス出身のジャワ・セイフェンと申します。協会では、世界文化セミナーを担当しております。当セミナーでは、在留外国人の講師が母国を英語で紹介し、日本人の受講者と質疑応答を英語で行うことにより、異文化理解を深め、英語能力を上達させることを目指しています。世界文化セミナーにご関心をお持ちの方はお気軽にご連絡いただければ幸いです。皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

～JICA海外協力隊について 相談を受付しています～

JICA茨城デスクでは、青年海外協力隊参加経験のあるスタッフがJICA海外協力隊に関する疑問や不安にお答えします。

「JICA海外協力隊の

体験談を聞いてみたい！」

「JICA海外協力隊について知りたい！」

「どんな準備をすればいいの？」

など、JICA海外協力隊に関心のある方、是非、JICA茨城デスクまでお問合せ下さい。

問合せ先

JICA 茨城デスク（(公財)茨城県国際交流協会内）新井

電話番号／029-241-1611

Eメール／jicadpd-desk-ibarakiken@jica.go.jp

受付時間／平日9:00～12:00・13:00～17:00



●令和3年度 団体賛助会員（令和4年1月末現在）※敬称略

石岡商工会議所	鹿嶋国際交流JCサークル	株式会社 つくば研究支援センター
「茨城アジア教育基金」を支える会	鹿島市開発 株式会社	電機連合茨城地方協議会
いばらき印刷 株式会社	鹿島埠頭 株式会社	那珂市国際交流協会
一般社団法人 茨城県医師会	鹿島臨海通運株式会社	日本電子光電 株式会社 東海事業本部 地域共創部
公益財団法人 茨城県開発公社	鹿島臨海鉄道株式会社	日本語学校つくばスマイル
茨城県火災共済協同組合	北茨城国際交流会	日本労働組合総連合会 茨城県連合会
一般財団法人 茨城県環境保全事業団	株式会社 光和印刷	ヌーベルアーージュ株式会社
茨城県行政書士会	古河市国際交流協会	ヌーベルキャリア株式会社
一般社団法人 茨城県経営者協会	国際ソロプチミストつくば	ヌーベルメディア株式会社
一般財団法人 茨城県建設技術管理センター	コスモエコー	ハン サラン
一般財団法人 茨城県建設技術公社	コトブキ印刷 株式会社	常陸大宮市国際交流協会
茨城県市長会	JA茨城県中央会	日立商工会議所
社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会	株式会社JTB	広沢商事 株式会社
茨城県商工会議所連合会	下館商工会議所	ふじの会
茨城県商工会連合会	株式会社 常陽銀行	フレンドリーあんず
茨城県信用組合	常陽保険サービス 株式会社	フレンドリージャパンワールド
茨城県信用保証協会	昭和建設 株式会社	水戸内原国際交流ふれあいの会
茨城県青年海外協力隊を育てる会	鈴縫工業 株式会社	水戸商工会議所
茨城県若年者コミュニケーションクラブ(WVCC)	関影商事 株式会社	水戸信用金庫
茨城県中小企業団体中央会	センター印刷 株式会社	水戸ユネスコ協会
茨城県町村会	株式会社 高野高速印刷	メックス 株式会社
茨城県日中友好協会	社会福祉法人 達生堂 城西病院	メサフレンドシップ
公益社団法人 茨城県薬剤師会	筑西市国際友好協会	株式会社 めぶきリース
株式会社 茨城ポートオーソリティ	チョツ サラン	ワタヒキ印刷 株式会社
株式会社 茨城読売IS	株式会社 筑波銀行	他1社 計75団体

皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

Said & Did

令和3年度(公財)茨城県国際交流協会 日本語教育アドバイザー派遣事業

現在、県内には約60の日本語ボランティア教室があります。この事業は、それらの日本語教室がボランティアの方々
の質の向上・育成を図るための研修を実施する際に、当協
会登録アドバイザーを講師として派遣するものです。

今年度は、初級日本語ボランティア講座開催の1団体とレ
ベルアップ講座開催の6団体に講師を派遣し、うち3団体は
オンラインでの開催となりました。

また、昨年度実施した「外国人児童・生徒に対する日本
語教育支援者養成講座」の続編として、今年度は、より具体
的・実践的な内容の講座をザ・ヒロサワ・シティ会館にて
開催しました。11月18日、25日の2日間実施した講座に
は、(公社)国際日本語普及協会(AJALT)より講師
をお迎えし、外国にルー
ツを持つ子どもたちを支援
している日本語ボラン
ティア、市町村国際交流
組織の職員の方々など各
回50名以上の皆様が参
加されました。受講者
からは、「講師の豊富な経
験に基づく説明は具体的
でわかりやすく、すぐに
でも現場で生かせる」「早
速支援活動で実践してみ
たい」などの感想をいた
だきました。



日本語ボランティア養成講座
(アドバイザー派遣)



外国人児童・生徒に対する
日本語教育支援者養成講座

外国人のための一日無料弁護士相談

茨城県内では年々在留外国人数が増加し、現在は県西・
県南地域に多くの外国人が住んでいます。当協会では、外国
人集住地域での専門家相談の機会確保を目的に、例年「外国
人のための一日無料弁護士相談」を実施しています。

11月14日(日)、県西地域在住の外国人を対象に、筑西
市において相談会を実施しました。今回は、在留資格、労
働問題、国際結婚、医療問題、税金、その他生活全般につ
いて、24件の相談があり、4名の弁護士と各言語の通訳とで
対応しました。

また2月6日(日)、県南地域在住の外国人を対象に、土浦
市において相談会を実施しました。なお、1月27日から2月
20日まで茨城県にまん延防止等重点措置が発令され、新型
コロナウイルス感染症の陽性者も急増していたことから、急
遽分散開催としました。当日は会場にタブレット端末を設置
し、ZOOMを利用して弁護士と相談できる体制としました。

今回は、在留資格、労働問題、国際結婚、国籍、年金、
その他生活全般について、11件の相談があり、3名の弁護
士と各言語の通訳とで対応しました。

「ハイチ大地震被災者のための 義援金募集」の結果について

(公財)茨城県国際交流協会は、NGO茨城の会とともに、
ハイチ大地震による被災者に対して援助活動を行うNGO等
を支援するため義援金を募集したところ、たくさんの義援金
をお預かりすることができました。

援助活動を実施しているNGO等のうち、被災地での活動
の有無や活動内容、及び今後の資金需要などを調査のうえ
検討した結果、下記の団体に寄付させていただきました。

募金にご協力をいただきました多くの県民の皆様方に厚
く御礼申し上げます。

●義援金額	264,476円	
●寄付先	(特活)AMDA(アムダ)	132,238円
	(特活)ピースウィンズ・ジャパン	132,238円

令和3年度使い残した年賀状で 国際協力しよう！集計結果

義援金公式
ツイッター



令和3年度の書き損じ
ハガキ等の集計結果は右
記のとおりとなりました。

これらは、国際協力活
動を行っている団体等に
寄付をさせていただきました。

皆様のご厚意に心より
感謝申し上げます。あり
がとうございました。

・書き損じハガキ	1,679枚
・使用済切手	約3.8キログラム
・未使用切手	66,805円分
・外国紙幣	66枚
・外国コイン	約4.7キログラム
・現金類(テレカ換金含)	23,582円

寄付先：茨城キリスト教学園キリスト教センター
特定非営利活動法人 シェア
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター
ユニセフ(茨城県ユニセフ協会、日本ユニセフ協会)

令和3年度 国際理解教育講師等派遣事業 (ワールドキャラバン)

国際理解教育のため、県内の小・中・高・特別支援学校、
生涯学習団体等に、外国人講師等を40団体・50件に派遣
しました。

昨年度に引き続き、コロナ禍における取り組みとして、
今年度も対面交流と並行してオンライン交流を実施しまし
た。中には、国境を越えて現地の学生とリアルタイムで交流
を図る、オンラインならではの取り組みもありました。

学校からは、「先生方は分かりやすいパワーポイントや動
画を準備するなど大変工夫を凝らしてくださり、生徒は最後
まで集中して活動に参加していました。」「講師の先生方がと
ても一生懸命に説明をされる姿に感動しました。」などの感
想をもらいました。

また外国人講師の皆様からは、「本当に良い体験でした。
皆とても積極的に質問を聞いてくれました。非常にいきい
きしている皆を見て、私もとても嬉しかったです。」「在日外
国人として、日本人学生に直接交流するチャンスが少ない
ですが、この授業を機に、たくさん交流できて、嬉しい限り
です。今後も続けて参加
したいです。」などの感想をもらいました。

令和4年度の事業(派遣
申請等)については、準備
でき次第当協会ホームペ
ージに掲載予定です。



(公財)茨城県国際交流協会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2F
TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611

ホームページ <http://www.ia-ibaraki.or.jp>
メールアドレス iia@ia-ibaraki.or.jp